

憲法九条ねっと

ホームページアドレス:<http://www.mc.ccnw.ne.jp/kyujou/>

発行者:みなと医療生協「九条の会」事務局

憲法九条は絶対守ろう! 平和への想いを一つに

6月23日(火)にみなと医療生協「九条の会」主催で「平和の夕べ」を開催しました。これは「好きな事ができるのも平和のおかげ」を合言葉にいわゆるプロには頼まず、生協職員の趣味・特技を活かしながら平和を考える企画で、今年で3回目を迎えます。会場は参加しやすいように内科外来を利用させてもらい、地域の組合員、入院患者様、仕事帰りの職員、若手医師の皆さんなど100人以上の参加となりました。

始めに、みなと労組から「沖縄平和ツアー」へ参加した4名の報告がありました。各々ポイントを絞って沖縄へ行って学んだ事を話しました。参加者は「沖縄の話が良かった。若い方が頑張っているのが励まされた」「沖縄戦の話を聞いて憲法九条を絶対守ろうと思いました」など、沖縄戦の悲惨さを感じ、二度と繰り返してはならないと参加者で実感できる報告でした。

次いで、島津医師のフルート演奏。「あるこあるこ」「ムーンリバー」の2曲。さらに理事の外山さんと組合員推進室の加藤さんによる朗読劇「ぼくとガジュマル」(下嶋哲郎作)。朗読劇は昨年引き続きもので、プロ並みと前評判の高い外山さんの話に会場は聞き入っていました。

休憩後は、皆さんお待ちかねの「医局合唱団」の登場で会場は一気に盛り上がりを見せ、「シャボン玉」「千の風になつて」「しかられて」、アンコール曲「のぞみの島」で締めました。これを観に来るといふ組合員さんの多さに毎回のことながら驚かされます。

そして、今回トリを務めたのが日比野医師のギター演奏で、綿引医師との「明日があるさ」、ソロでミスターチルドレンの「彩り」、島津医師ほかたくさんの医師、職員が参加しての「世界に1つだけの花」で会場一体となって歌いました。

最後に、みなと医療生協「九条の会」の江間代表より「今日の平和への想いを一人でも多く周りの人に伝えてほしい」とあいさつし終了しました。

参加者からは「平和を考える機会を多くの方と楽しく与えてくださってありがとうございました」「感動的な会でした」「近所の方に誘われ初めて参加しました。とても感動しました」「合唱団、フルートどれも良かったです」など、たくさんの感想が寄せられました。

今後も少しでも平和を考える企画を行い、憲法九条を生かして広める取り組みをしていきたいと思います。次は、みなと医療生協「九条の会」5周年記念になると思いますが、皆さんの参加をお待ちしています。

(みなと医療生協「九条の会」事務局 嶋倉)



沖縄ツアーの報告をする生協の若手職員

9

感動的な平和の夕べ

観て、聞いて、感じて、それぞれの思い

沖縄慰霊の日、心から平和を願いながら参加することができました。沖縄の現実、今の政治の姿勢に平和を守る手を決して緩めてはいけないと思います。

若い人が頑張っているのがわかりうれしいです。いろんな世代の人たちの集いになり、さすが医療生協と思いました。

平和を考える機会を多くの方と楽しく与えて下さってありがとうございました。繰り返し語りつなぐことは私たちの使命です。若い方々が多く参加された集会は元気がです。

若い医師と職員さん達の日常への仕事、平和への熱い思いが強く伝わりました。心がとても元気になりました。

感動的な会でした。たまたま沖縄戦の事をテレビで放映していて兄弟で両親を殺し、それを今でも忘れられないと言われたのを思い、今日沖縄戦の話聞き絶対に九条を守らなければと思いました。



綿引医師と日比野医師のコラボライブ



すっかりお馴染み医局合唱団
今回も美しい歌声を披露していました

会場となった内科外来には、自分が平和でイメージする漢字一文字、ズバリ「一筆入魂」も展示されました。生協の職員から集めた一筆入魂には「和」「寝」「楽」など様々なものがありました。今後、病院内での掲示も考えていますので、そちらの方も楽しみに！

他にもたくさんの感想、そしてカンパを頂きました。
ありがとうございました。

みなと医療生協「九条の会」は、いかなる理由があろうとも海上自衛隊の恒久派遣につながるソマリア沖海賊法の衆議院採決に抗議します。